



和弘食品株式会社

2025年3月期 決算説明資料

北海道の恵みとともに**スープ・タレ・天然エキス**を
作り出す業務用調味料の専門メーカーです

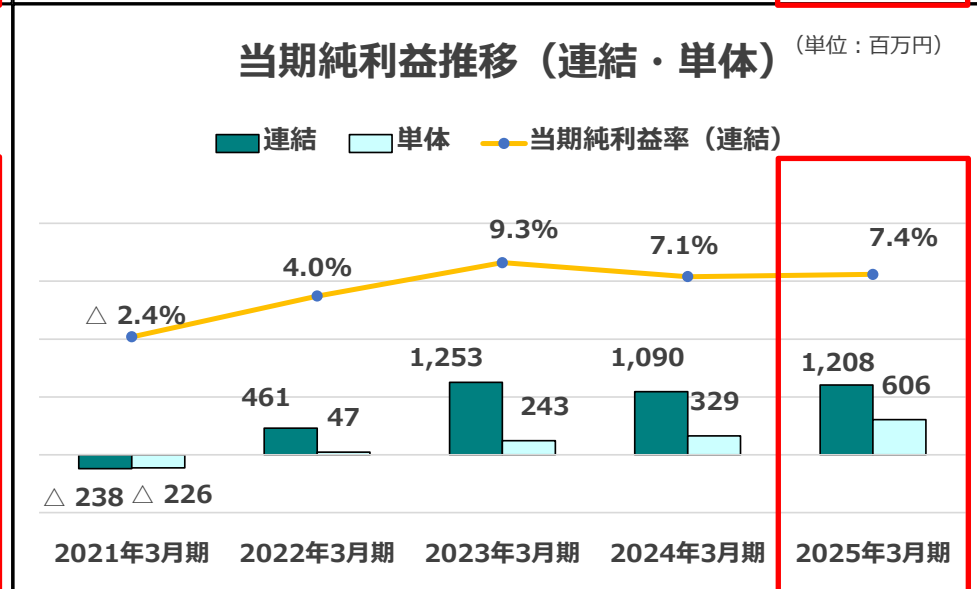
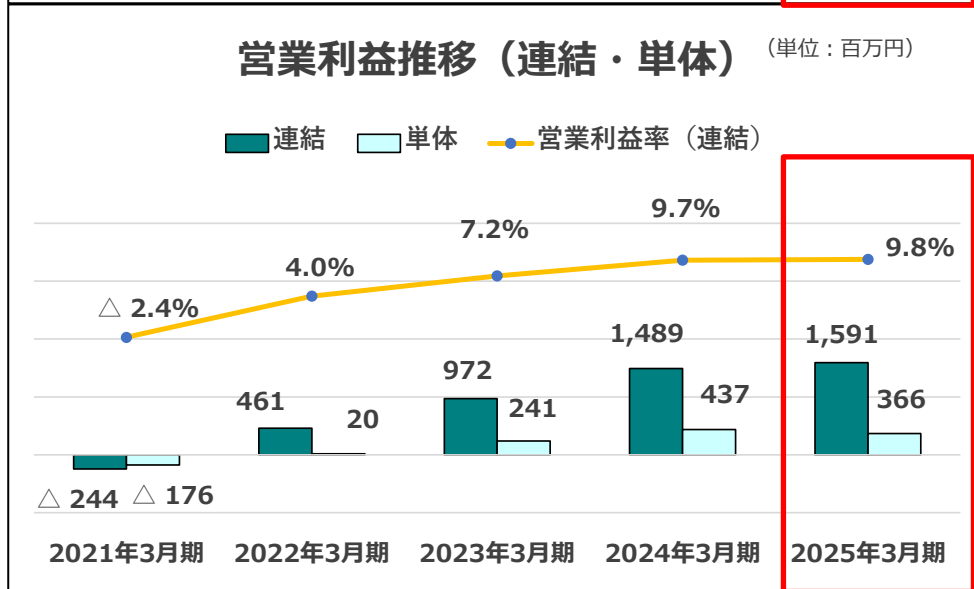
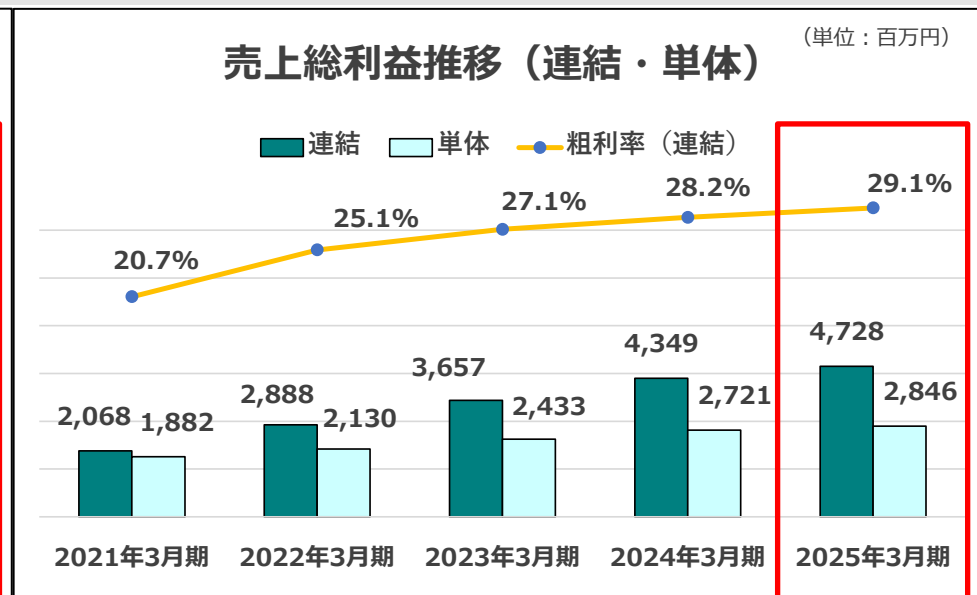
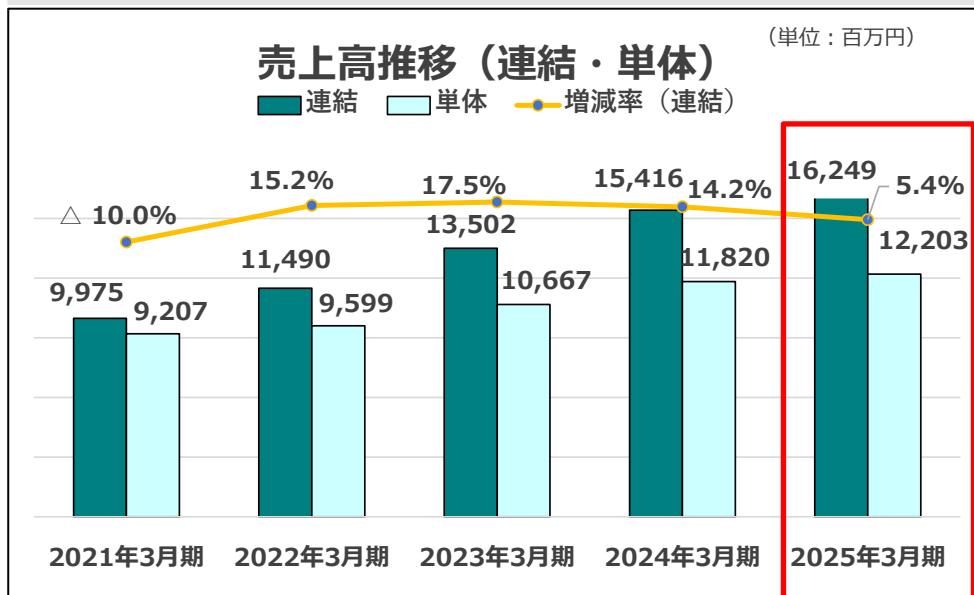
2025年5月15日
証券コード 2813



1. 2025年3月期 連結決算概要
2. 日本セグメント概要
3. 米国セグメント概要
4. 2025年3月期 四半期毎推移 予算と実績
5. 成長投資と株主還元

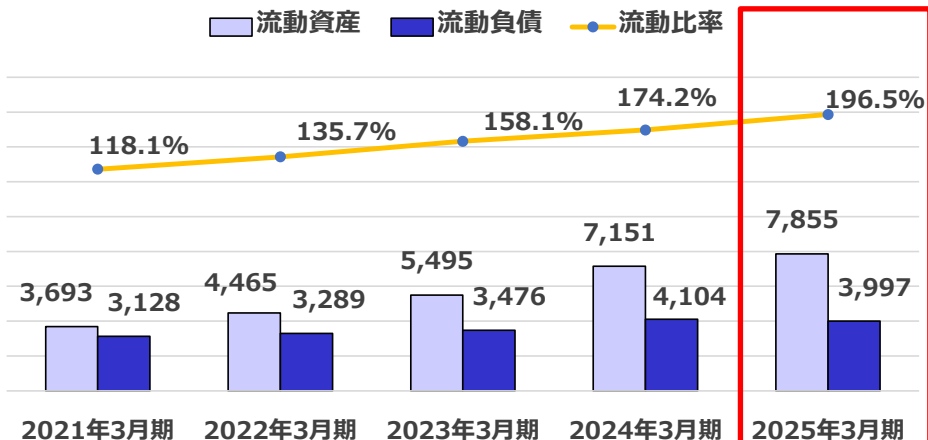
1. 2025年3月期 連結決算概要
2. 日本セグメント概要
3. 米国セグメント概要
4. 2025年3月期 四半期毎推移 予算と実績
5. 成長投資と株主還元

	2024年3月期 決算	2025年3月期 決算	前期 増減額	(単位：百万円) 前期 増減率
売上高	15,416	16,249	832	5.4%
売上総利益	4,349	4,728	378	8.7%
営業利益	1,489	1,591	102	6.9%
経常利益	1,540	1,609	69	4.5%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	1,090	1,208	118	10.8%



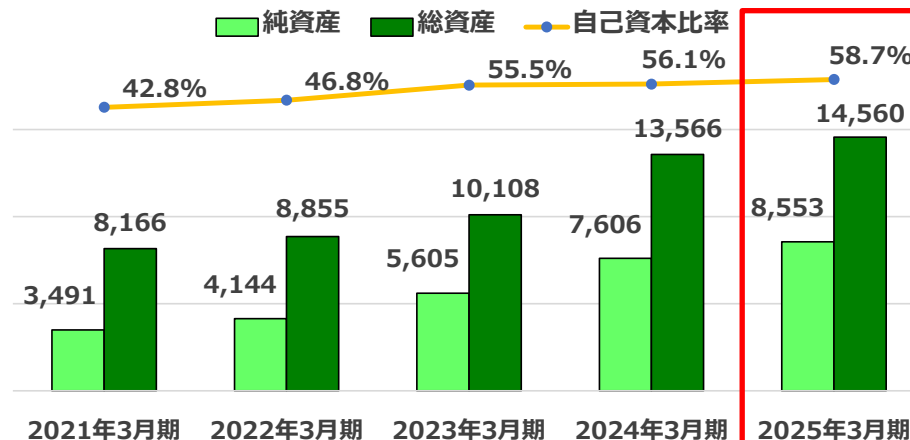
流動比率推移 (連結)

(単位: 百万円)



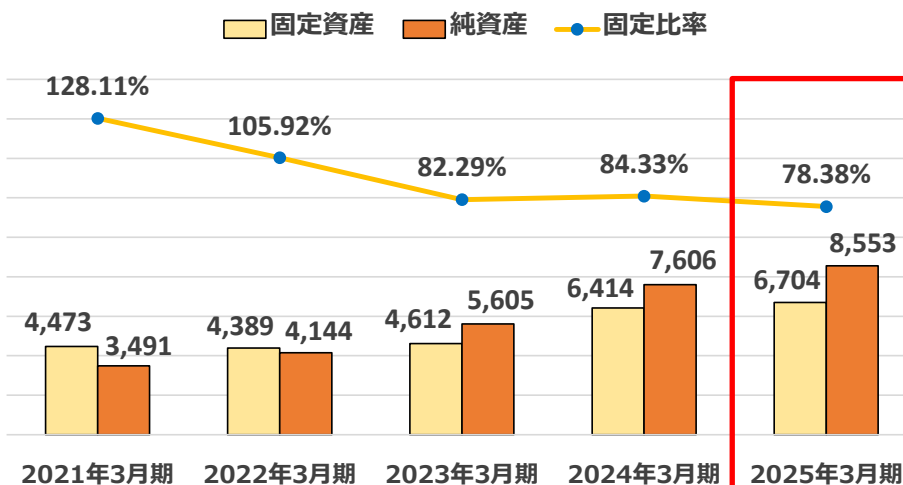
自己資本比率推移 (連結)

(単位: 百万円)



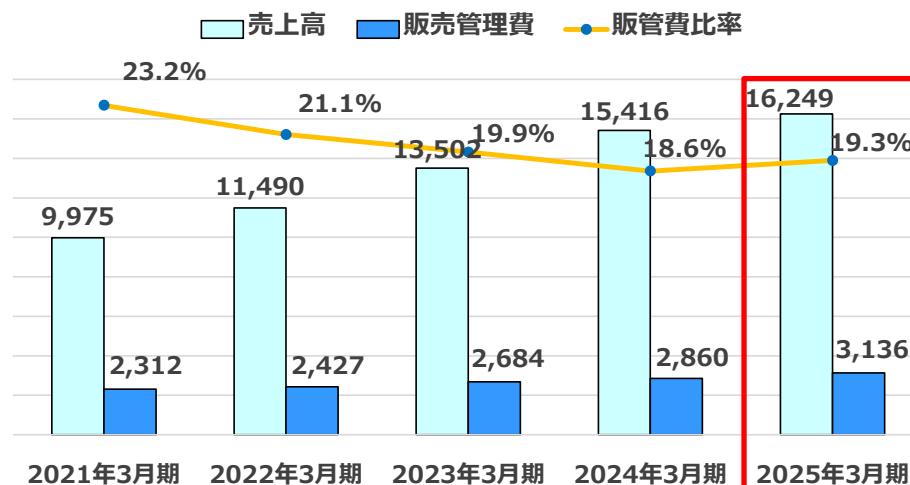
固定比率推移 (連結)

(単位: 百万円)



販管費比率推移 (連結)

(単位: 百万円)



1. 2025年3月期 連結決算概要
2. 日本セグメント概要
3. 米国セグメント概要
4. 2025年3月期 四半期毎推移 予算と実績
5. 成長投資と株主還元

1. 売上高は前年比増、ただし伸びは鈍化

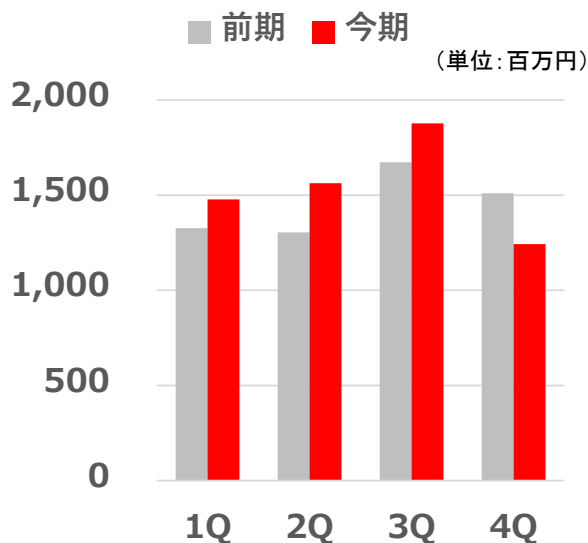
好調な外食向け販売が売上を牽引。また、内食向けについては不採算商品の整理が進み収益性改善を図ったものの売上は伸び悩んだ。外食・中食向けで一部大口製品の終売やフェアメニューの採用不調が年度を通して影響したこともあり、売上の伸びは鈍化した。

2. 成長投資にともなう販管費増加、営業利益減

製品価格改定、生産性向上等による収益性向上施策は着実に進捗。一方で海外進出の加速にともない拠点整備費、調査関連費、人材育成費を増加させたことにより営業利益率は前年比低下した。

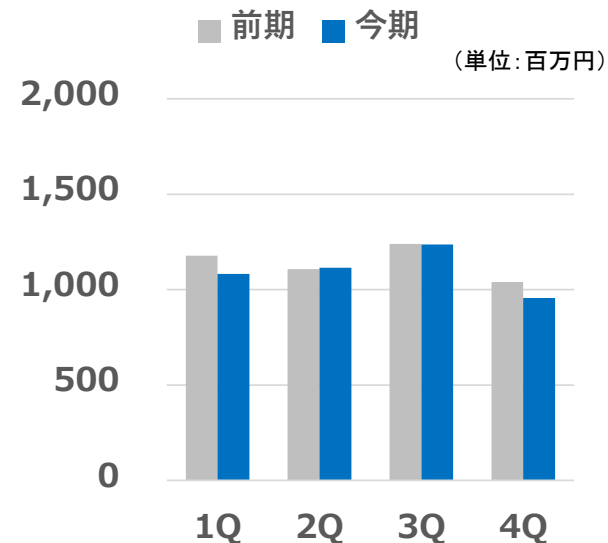
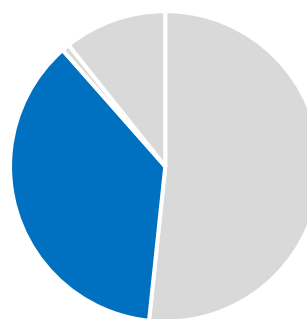
業務用調味料

51.7%
売上構成比



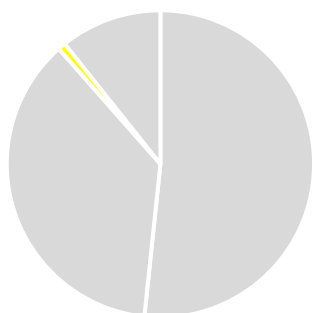
別添用調味料

36.8%
売上構成比



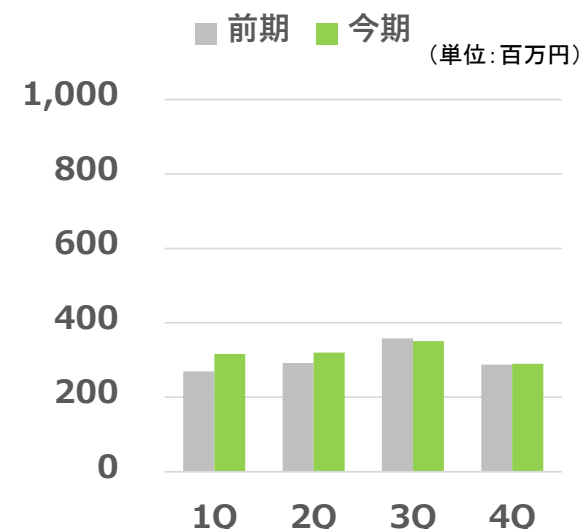
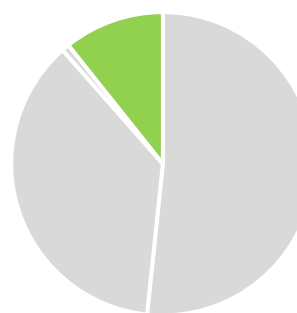
天然エキス

0.8%
売上構成比



その他

10.7%
売上構成比



1. 2025年3月期 連結決算概要
2. 日本セグメント概要
3. 米国セグメント概要
4. 2025年3月期 四半期毎推移 予算と実績
5. 成長投資と株主還元

1. 新規参入需要は引き続き旺盛

北米の外食市場では、ラーメンをメニューに加えるレストランユーザーの参入が続いており、売上・利益を押し上げた。第3四半期に一部の現地ラーメンチェーンで在庫調整の動きがあり、PB品（顧客毎に専用のプライベート・ブランド品）の販売が落ち込む局面があったが、第4四半期で回復。通期では前年比好調な伸びを継続した。

2. 生産能力増強

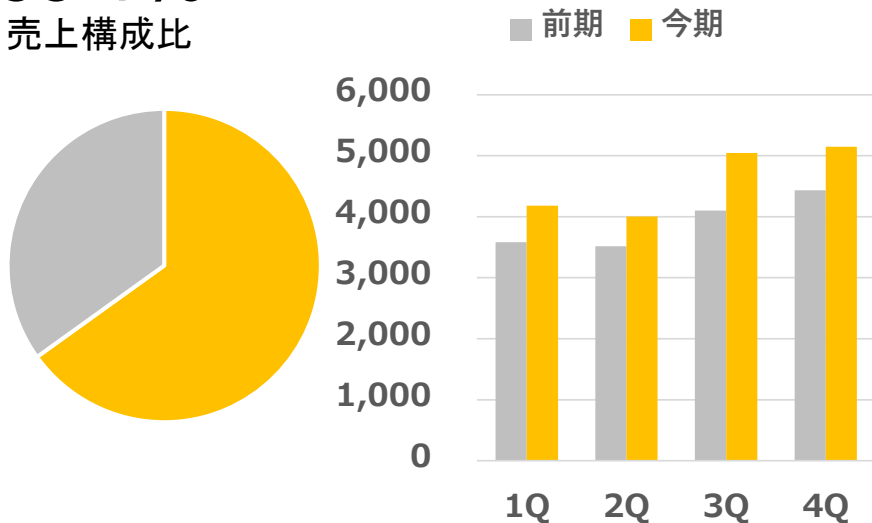
今期増強した生産設備は第3四半期から本格的に稼働を開始した。生産能力は増強前に比べて最大で20～30%増加すると見込んでおり、中期的な北米のラーメン市場拡大に対応していく。また販売拡大にあわせた営業人員の増強も実施。

NB製品

※ NB…ナショナルブランドの略。当社が独自に企画した商品を当社のブランド名で製品化し、販売することを指します。

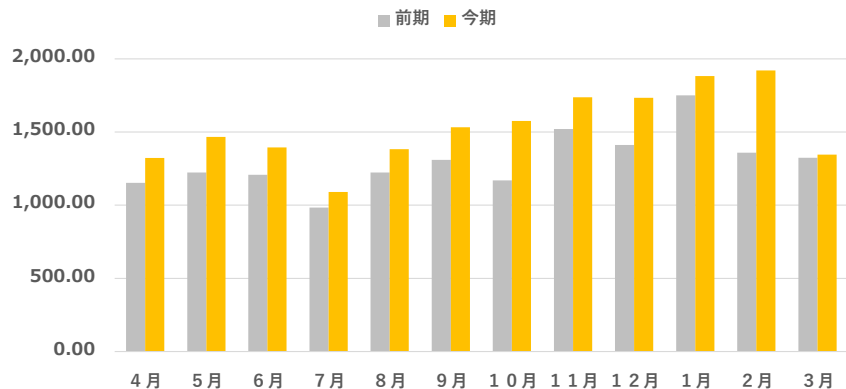
65.1%
売上構成比

(単位:千ドル)



NB製品月次売上高推移

(単位:千ドル)

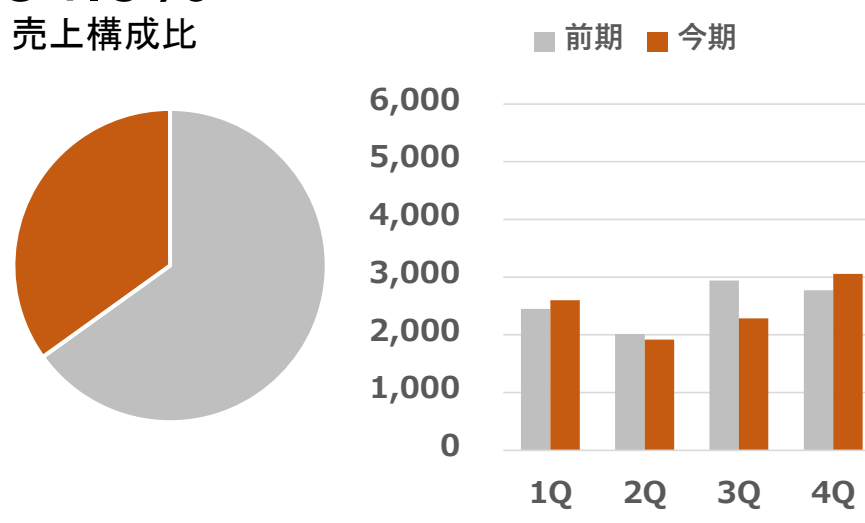


PB製品

※ PB…プライベートブランドの略。商品企画に合わせて当社でレンピ設計をした商品をお客様のブランド名で製品化し、販売することを指します。

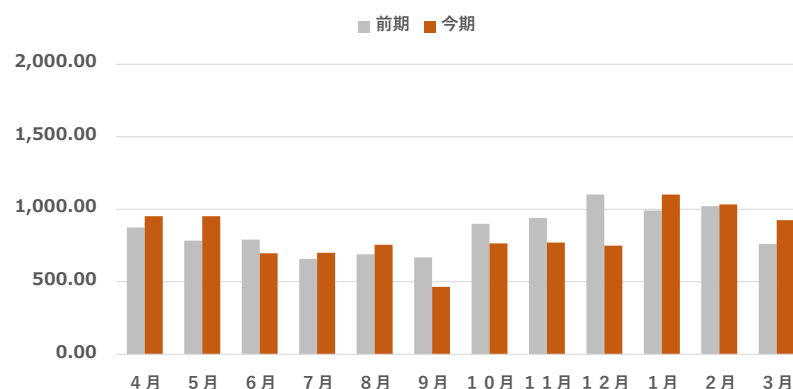
34.9%
売上構成比

(単位:千ドル)



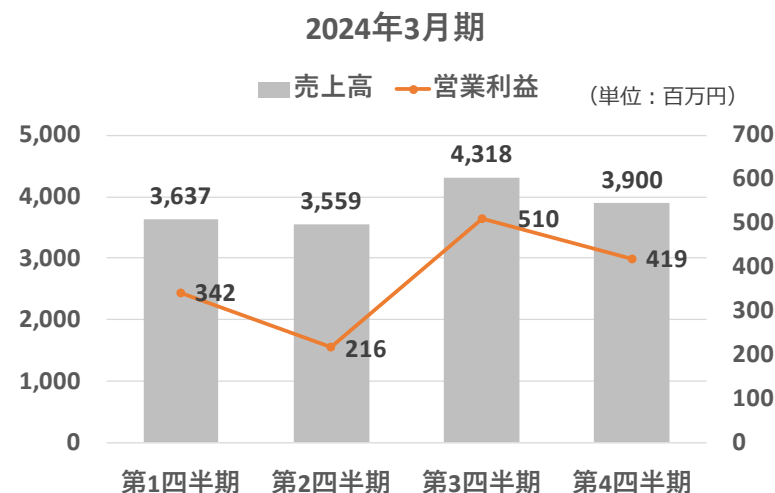
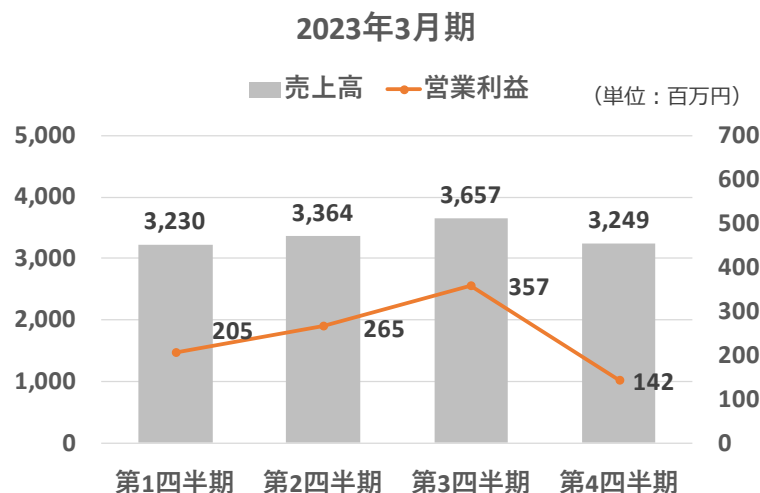
PB製品月次売上高推移

(単位:千ドル)



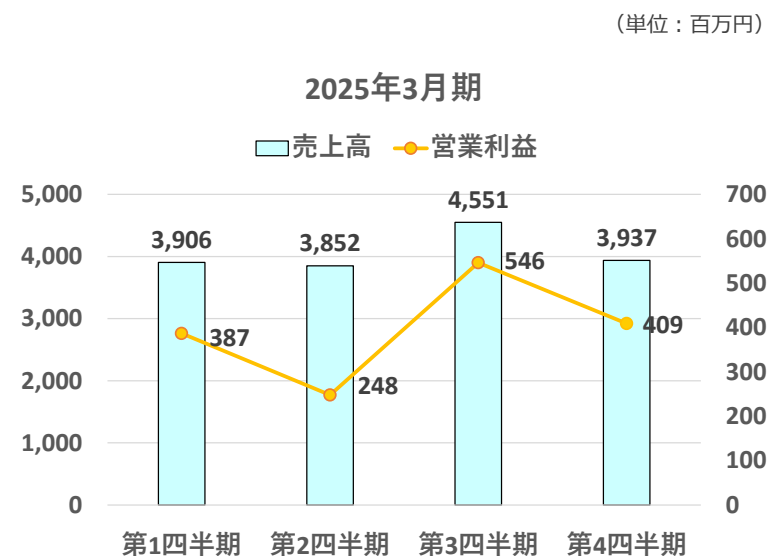
1. 2025年3月期 連結決算概要
2. 日本セグメント概要
3. 米国セグメント概要
4. 2025年3月期 四半期毎推移 予算と実績
5. 成長投資と株主還元

2025年3月期 四半期毎推移 予算と実績



(単位: 百万円)

項目	2025年3月期 実績	2025年3月期 通期予想	通期予想 達成率
売上高	16,249	16,843	96.5%
営業利益	1,591	1,810	87.9%
経常利益	1,609	1,823	88.3%
当期純利益	1,208	1,334	90.6%



1. 2025年3月期 連結決算概要
2. 日本セグメント概要
3. 米国セグメント概要
4. 2025年3月期 四半期毎推移 予算と実績
5. 成長投資と株主還元

1. 当年度に実施した主な成長投資案件

組織名	地域	目的	投資規模
WAKOU USA Inc.	米国	ラーメン市場拡大に対応した製造設備増設	約150百万円
WAKOU RAMEN (THAILAND) CO., LTD.	タイ、バンコク	東南アジアにおいて調味料・スープの販売・開発を行う子会社を設立	約10百万円
(株)栄田フーズ	日本、秋田県	海外進出および高付加価値製品の開発・製造に向け、エキス抽出メーカーの株式を取得	非公表

2. 株主還元

今後の中期的な成長投資・人的資本投資を踏まえつつ、株主還元の向上を図るため当年度の株式配当を直近公表済み予想から増額致します。

2025年3月期 年間配当額

直近公表	変更後
1株当たり81円	➡ 1株当たり97円

- ◆本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◆本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。
- ◆本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ

 **和弘食品株式会社**

IR担当：荒川

TEL：0134-62-0505

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp